



## ◎ 2019年度の取り組み（視察・研修・国際理解・講座等）

### 4月～

#### 学校生活適応指導 岩倉市立岩倉東小学校

- 該当児童生徒 15名(小学生 12名, 中学生 3名)
  - ・ ブラジル9名, フィリピン1名, トルコ4名, ネパール1名
  - ・ 東小7名, 曾野小2名, 南小3名, 岩中2名, 南部中1名



### 4月～

#### 学校生活適応指導 岩倉市立岩倉南小学校

原則, 学校生活適応指導は, センター校である岩倉東小学校でブラジル人講師の担当者が指導を行うが, 保護者が東小学校への送迎をすることができない場合が増えてきている。

平成29年度より南小にフィリピン人講師が在籍できることとなり, 保護者が送迎できない場合は, 南小を会場として学校生活適応指導を実施した。今年度は, フィリピンとブラジルにルーツをもつ児童合わせて4名が学校生活適応指導を受けた。本校で学校生活適応指導が行えるため, 来日したばかりの児童が早く学校生活に慣れることができ, 体育や音楽などは教室で他の児童と一緒に活動することができるなど時間割に融通を効かせることができた。その一方で課題としては, フィリピン人講師の勤務は, 月・火・金の週3日であり, また通訳等も担当しているため, 時間割の組み方が難しい。

- 南小で学校生活適応指導を受けた人数
  - ・ フィリピン 1年生1名
  - ・ ブラジル 1年生1名
  - ・ トルコ 5年生1名



### 4月～

#### 研修会 毎週 水曜日 事務局校を中心に



※ 研修内容は, 年間計画を立て, ホームページに掲載している。

多種多様な内容で実施(教科, 日本語指導, 海外生活体験 etc)

### 4月

#### 相談会

- 1 日 時 4月22日 15:00～16:00
- 2 会 場 岩倉市立岩倉東小学校
- 3 内 容

##### (1) 学校生活・行事について

- ・ 1年生の保護者に写真や資料を交えて, 学校生活や行事についての説明を行った。
- ・ 行事の際の食事や対応等について, 不安をもつ保護者の相談に乗り, 内容や対応を伝えた。



## (2) 学習に関して

- ・ 家庭での学習に不安をもつ保護者が多く、学習内容や時間等について話をした。
- ・ 日本語能力試験に関しての説明をした。

## (3) 進路に関して

- ・ 保護者に進路の希望を聞き、それに合った日本の学校の進学システムや、金銭面に関しての説明をした。



## 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 連絡協議会

2019年4月16日

### 1 会長あいさつ（教育長）

30年度実践報告書によると、幅広くすばらしい実践であることがわかる。

村瀬室長，多くの教員のおかげで子どもたちがよき岩倉市民になっていく教育が行われている。中学・高校へ進学する生徒らの人間的成長が想像できる。南部中学校で生徒会長になる生徒もいると聞く。うれしいこと。

4月の校長会にて「夢を語る」ことをしている。みな同じではなく，子どもの実態・地域・校長の熱い思いにより学校は経営されている。校長の決意表明のみならず，受け取る行政に響く内容である。

事例紹介：テーマ「世界に羽ばたく東っ子」

外国籍半分以上。学力向上させることがたいへん。しかし，将来に向けて羽ばたいてほしいという思いがある。身につけてほしい力として，自ら考える力・人とかかわる力・わくわく力・笑顔など。

子どもがやがて将来活躍するような学校経営がしたい。

このような中で，日本語・ポルトガル語適応指導教室にかかわる先生方がもつ夢を理解しながら進めたい。

### 2 自己紹介

#### ① 教育委員会

- ・ 教育委員会 部長
- ・ 教育委員会 課長
- ・ 教育委員会 グループ長
- ・ 教育委員会 管理指導主事
- ・ 教育委員会 指導主事（司会）

#### ② 小学校センター校校長（岩倉東小）

#### ③ 中学校センター校校長代理 教頭（南部中）

#### ④ 事務局校校長代理 教頭（岩倉南小）

#### ⑤ 当者在籍校校長

- ・ 岩倉中
- ・ 岩倉北小 代理 教頭
- ・ 曾野小 校長
- ・ 五条川小 代理 教頭

#### ⑥ 教務主任

- ・ 岩倉東小学校
- ・ 南部中学校
- ・ 岩倉南小学校
- ・ 岩倉中学校
- ・ 岩倉北小学校
- ・ 曾野小学校



・ 五条川小学校

⑦ 養護教諭代表 (センター校養教一岩倉東小, 南部中欠席)

⑧ 日本語担当 紹介

・ 村瀬 英昭◆	一	室長 (事務局)	岩倉南小在籍	【19年目】
・ 加藤 洋子◆	一	副室長	南部中在籍	【 8年目】
・ 加納 一城	一	主任	岩倉東小在籍	【 7年目】
・ 松本 知子◆★	一	副主任	曾野小在籍	【 7年目】
・ 勝田 千陽	一	小学校代表	五条川小在籍	【 6年目】
・ 中村 夏帆◆★	一	中学校代表	岩倉中在籍	【 5年目】
・ 渡邊 英利子◆	一	岩倉南小在籍	【 2年目】	
・ 稲田 真人 ★	一	岩倉東小在籍	【 3年目】	
・ 伊藤 琴未	一	岩倉東小在籍	【 4年目】	
・ 徳光 将夫◆	一	岩倉東小在籍	【 2年目】	
・ 土屋 佳祐	一	岩倉北小在籍	【 4年目】	
・ 真藤 涉◆★	一	岩倉北小在籍	【 1年目】	
・ 服部 真夕◆	一	南部中在籍	【 2年目】	
・ 藤川 美穂◆★	一	南部中在籍	【 1年目】	
・ 原田 彩衣	一	南部中在籍	【 1年目】	
・ 伊藤 真愛	一	南部中在籍	【 1年目】	
・ 油浅 重里◆★	一	岩倉中在籍	【 2年目】	
・ 谷 朋美 ★	一	岩倉中在籍	【 1年目】	

◆ 海外生活経験者一10名, ★ 日本語教育専攻者一7名

⑨ 外国人講師 紹介

・ オテロフェルナンダ	一	ポルトガル語指導	【 8年目】
・ 平野美幸	一	学校生活適応指導	【 9年目】
・ レティシア	一	初期・フィリピン語対応	【 3年目】

□ 村瀬室長

- ・ 担任19年間に加えて日本語・ポルトガル語適応指導教室19年の合わせて38年間勤めた。ラストイヤーとなる集大成の年。資料・HP(13万アクセス)にこれまでの仕事をまとめている。かかわった教員は日本語担当53名, ポルトガル語9名のべ62名の教員である。
- ・ 連絡協議会が立ち上がるまでは, こじんまりと実施してきた。組織ができたからこそ達成できたことがあり, 感謝。校長出張により教頭, 教務主任に出席いただいた。よい意味で次世代を支えてもらうということでありがたい。(報告後の)協議会で意見をいただき, 参考にしたい。

3 日本語・ポルトガル語適応指導教室より

- (1) テーマ『夢をもち, 将来の日本を支える外国にルーツをもつ児童生徒の育成』
- 南部中学校で年度当初に校長・教頭から日本語教室についての全教員への説明があった。また, 校長はじめ教頭・教務主任には日本語担当が仕事をしやすいように配慮していただいている。たいへんありがたい。

(2) 適応指導教室 理念

- ① 外国にルーツをもつ児童生徒が日本の学校に適応できるように指導する。それが, 日本人児童生徒にも好影響を与える。
  - ② 市内すべての小中学校に在籍している外国にルーツをもつ児童生徒に平等な教育をする。日本語を話せばよいということではなく, 授業についていけるようになるまで指導する。
  - ③ 地域でおきている外国人差別・偏見の是正を学校からひろげていく。
  - ④ 未就学・不登校児童生徒をつくらない。
  - ⑤ 親とコミュニケーションがとれるよう, また, 母語・母文化保持のため, ブラジルの教育を取り入れる。
- ★ 『日本一愛のある適応指導教室』を目指す。『愛』とは, 見捨てないこと!

(3) 適応指導教室の取組

- ① 外国人に対する偏見の是正
- ② キャリア教育
- ③ 小中連携 → 巡回指導（兼務命令，交流）
- ④ 母語指導
- ⑤ 岩倉市日本語指導方式
- ⑥ 指導体制の組織化
- ⑦ 保護者への情報発信
- ⑧ 国際理解教育の推進
- ⑨ プレスクール
- ⑩ 幼保・上級学校との情報交換
- ⑪ 学校生活適応指導（集中初期指導）
- ⑫ その他
  - ・ ユニバーサルデザイン
  - ・ 追跡調査（編入・転入・転出先，卒業後の進路先などを把握）
  - ・ マニュアル

(4) 今後の指針

- ① 外国にルーツをもつ児童生徒の「心の居場所」づくりをするとともに「授業で活躍できるように必要な語彙・表現」を身につける。
- ② 夢や目標をもって日本で生活していくための適応指導や学習指導，上級学校に向けての進路指導等を実施する。
- ③ 開始当初の指導理念を重視しつつ，社会動向や児童生徒・保護者の思いを加味しながら，柔軟に対応し，よりよい方向を目指していく。

(5) 「個別の指導計画」の作成

- ・ 指導に関する記録
- ・ 児童生徒の記録
- ・ 特別の教育課程の編成，実施計画

- 特別の教育課程のなかでの日本語教育認められた。これまで岩倉市では以前から似たものを「個人調査票」「評価表」として作成してきたものが，個別の指導計画を作成し，上記3点を文科省に提出することが決定。  
配布した生徒ごとのデータ（記録）を参照いただきたい。

(6) 報告

- ① 「日本語指導が必要な児童生徒」在籍状況
  - ・ 265名，18カ国15言語（4月8日現在）
- ② 保護者会等通訳配置
- ③ 平成30年度 外国人児童生徒 進学・就職先
- ④ 今年度の取組（主なもの）

・ 外国人向け進路説明会	中学校	5月17日(金)
・ 公開指導	南部中	11月11日(月)
・ 入学説明会	小学校	1月30日(金)
・ 入学説明会	南部中	2月4日(火)
・ 入学説明会	岩倉中	2月5日(水)
・ プレスクール	2月7日(金)より毎週，全5回	東小にて

⑤ 巡回（交流）指導について

- ・ 児童生徒の増減や日本語能力に応じて，臨機応変に変更。
  - ・ 各校の授業参観や学校訪問の日も時間割通り指導を行う。
- ※ 兼務命令で巡回指導を行っているため，曜日変更などへの対応は難しい。

(7) 日本語・ポルトガル語適応指導教室での現職教育

- ① 公開研修会
  - ・ 月1回程度実施，ホームページに年間公開研修計画を掲載。
- ② 夏期研修「情報交換・交流会」 7月26日(金)  
南小学校にて実施 外部講師

③ スキルアップ研修  
日本語担当者向け 室長が講師

④ 部会の活動

『学習部会』

- ・ 指導教材の整理
- ・ 指導教材と到達度テストの見直し
- ・ 指導と評価方法の方向性について
- ・ 次年度小学校教科書改訂に伴う、カリキュラムの再編成

『相談部会』

- ・ 翻訳文書の整理
- ・ 保護者との連絡手段の方法について
- ・ 就学時健診に向けて
- ・ プレスクールの計画・準備
- ・ 幼保視察

『小学校部会』

- ・ 評価テストの見直し
- ・ 行事に必要な用具リスト
- ・ 汎用性のあるスライド教材の作成
- ・ 次年度小学校教科書改訂に伴う、指導教材の整理

『中学校部会』

- ・ 進路説明会細案と通訳、担当者打ち合わせ (4月)
- ・ 進路説明会 計画, 実施 (5月)
- ・ 高校視察 計画 (6月) 高校視察 (夏休み)
- ・ 外国人向け中学校入学説明会 計画, 実施 (2月)

⑤ 指導

『ユニバーサルデザインを取り入れた指導』

- ・ モジュール形式
- ・ ICTの活用

(8) その他

① 書類関係

- ・ 受入れ手続—各校, 教務主任, 学年でも対応。  
手続きの日時は, 日本語担当者に確認して進めていただきたい。
- ・ 翻訳文書—ホームページに掲載 (担任へ連絡)
- ・ 日本語教育が必要な外国人児童生徒 報告—各学校 (教務主任) と担当で要確認

② 公開指導, 意見交換会 — 南部中学校で実施 11月11日(月)

③ 外国人講師

- ・ 時間外勤務 — 勤務割振等の配慮をお願いしたい。  
※ 時間外に保護者の通訳を行った場合には, 通訳分の手当を行う。
- ・ 休日勤務 — 年間予定以外に休日勤務を行う場合は, 校長先生から連絡をいただきたい。

④ 日本語能力試験—7月, 12月

⑤ 第2回連絡協議会

- ・ 日程調整後, 連絡—3月13日 (金) 予定

□ 村瀬室長

- ・ 保護者への連絡方法について  
学校からの連絡を言語に応じた翻訳文書で配信。メールで行ってきたが, 緊急メールなどは保護者携帯電話に送ってきたが, 携帯メールアドレスをもたない保護者もいる。LINEを使うという案も出たが, 教員がLINE利用はよくない。検討必要。
- ・ 日本語指導が必要な児童生徒数について  
265名 (昨年度は274名) という数は, 減少ではない。直接の日本語指導をする生徒を精選した結果。合計は310名程度だが, 本来の形にするということ。(日本語が) できる生徒は「卒業」させたい。

- ・ スキルアップ研修について  
これまでとは別枠で実施。通常水曜だけの研修では不足なので、金曜にも設定してある。校長・教頭にご理解願いた。新任日本語担当者が3校に散在のため、室長が各校へ出向いて研修する。
- ・ 以前本校に直接視察依頼があった際に、手順が分からず困ったため、視察依頼の受付の流れを教えてください。  
→ 学校関係者の外

#### 4 意見交換，質疑・応答

##### □ 岩倉東小学校(センター校) 教務主任

- ・ 本日，保護者(ブラジル人)が来校。主任加納が長時間対応したが，日本のことなど伝わらないことが多い。時間をかけても教員の思いなども伝わりにくい。なんとか伝わる方法はないか。間に入る人員。例えばスクールソーシャルワーカー等が考えられるが，言語対応できない。予算のこともあるが，有資格者で言語対応できる人員が望まれる。
- ポルトガル語指導，学校適応指導をしながら通訳・翻訳を手掛ける現教員の負担は大きい。もう一人(通訳・翻訳)いてくればよいと思う。心のケアは専門家が必要だ。

##### □ 岩倉東小学校(センター校) 校長

- ・ 昨年度末トルコ人の半強制的帰国の事例があった。このことから心のケア，専門家につなげる必要がある。岩倉市だけでは対応難しい。県・国につなげるようなパイプ役が必要なのではないか。
- トルコの実例は多くなっている(入国審査 難民申請したが強制帰国)。行政書士や弁護士から助言をもらった。行政でのサポートは愛知県多文化共生室の無料弁護士紹介はあるが遠方。専門知識をもつ人からの入国に関する内容は日本語担当者向けにもレクチャー必要。

##### □ 司会

- ・ 岩倉東小校長から保護者の心のケア必要という話があった。保護者に思いが伝わらないもどかしさがある。これまでの経験から助言がないか。日本語が十分でない保護者・児童生徒が相談に行ける場所はあるのか。
- 経験上ではあるが，言語が話せなくても，「やさしい日本語」で寄り添って心を通わせる努力をしている。そのような気持ちをもちたいと考えている。

##### □ 岩倉北小学校 教頭

ペルーの実例を紹介し，担当者らに感謝を述べたい。保護者は言葉がわからずトラブルとなったが，日本人教員が時間をかけて寄り添い，両親を説得(やさしい日本語で)した。その後，引っ越ししたが，岩倉市に戻ってきた。日本語担当教員に愛されて，児童は変わった。親がクレーム電話をしてこなくなった。ゆっくりしていねいに寄り添うことの大切さを実感。

##### □ 岩倉中学校 校長

- ・ 和歌山からの生徒の実例紹介。在籍する外国人の生徒から編入の情報を得たが，他の情報がなかった。外国人生徒が学校に連れてきて説明したりして，橋渡ししてくれた。日頃から日本語担当教員が手厚くやっているから，その影響で生徒が動いたのではないか。言語対応できるスクールソーシャルワーカーを雇うというのは難しい。今いる保護者や卒業生に協力を募れば，恩返しとして応えてくれる人はいるのではないか。声をかけてみてはどうか。

#### 5 教育委員会より(高橋管理指導主事)

連絡協議会は毎年2回実施。毎回新たな取り組みや課題を共有する会。

最も大事なことは，開催のたびごとに新たなスタートラインを共有できることである。

ある書籍で，国民性やメンタリティーは「国語」に宿るとあった。(引用：藤原正彦『祖国とは国語』) 国語を獲得することで豊かな国民性が身につく。たとえ，人が国を追われても国語を失わなければ祖国は残るとあった。なるほど。岩倉の外国人の子どもたちを見ると，母語をしっかりと残したまま日本語を学ぶ子どもがおり，母

語を失っている子どももいる。そういった子どもの中に祖国はどういう思いで残っているのだろうか。

さまざまな思いで学校に通ってくる生徒を、われわれはまずは引き受ける。それが責任を果たすこと。それを副室長は「寄り添う」と表現したが、同じことだと思う。それを大事にしていけば、日本一愛のある日本語・ポルトガル語適応指導教室になる、と今日改めて感じた。

## 5月

### 進路説明会

- 1 日時 5月17日(金) 16:30～
- 2 会場 南部中学校 南多目的室
- 3 参加者 岩倉中学校・岩倉南部中学校 生徒・保護者
- 4 内容

#### (1) 進路説明

- ① 日本の教育制度について
- ② 上級学校の種類について
- ③ 受験制度について
- ④ 授業料などの学費について

#### (2) 各言語に分かれて情報交換会

#### (3) 卒業生からのビデオメッセージ

#### 5 参加者の感想

- ・ まだ行きたい高校は決まっていなくても、卒業生のメッセージは参考になった。
- ・ 日本の高校について知らないことばかりなので、話が聞けてよかった。わからないことが聞けてよかった。
- ・ 資料がわかりやすかったので、これを使って家族で話していきたい。



## 5月・6月

### 各校での巡回担当者会

通常、事務局で行っている担当者会を市内7校の学校へ日本語担当者とブラジル人講師が出向いて行う。各校の連絡協議会メンバー（校長先生、教務主任、養護教諭）や担任の先生方との意見交換をし、多方面の意見を今後の活動に取り入れていくことを目的に5月から6月にかけて実施。



## 7月

### 日本語能力試験 前期

- 1 日時 7月2日(日)
- 2 会場 N1-愛知大学  
N2-中京大学  
N3-愛知学院大学  
N4-ホテルメルパルク名古屋
- 3 合格者 受験者 21名中- 合格 19名, 不合格 2名  
N1 合格者- 5名 (受験者 5名中)  
N2 合格者- 4名 (受験者 6名中)  
N3 合格者- 5名 (受験者 5名中)  
N4 合格者- 5名 (受験者 5名中)



**7月****日本語教室給食会 南小**

- 1 日時 7月4日 12:40～13:00
- 2 会場 岩倉市立岩倉南小学校 日本語教室
- 3 参加者 日本語教室取り出し児童  
(1年生～6年生 全15名)
- 4 目的 異学年・異文化交流
  - ・ 普段、日本語教室で顔は合わせているが、話をしたことがない児童同士がお互いのことを知る機会をつくる。
  - ・ 自分と同じように日本語教室で勉強している児童の様子を知る。年度末の6年生の卒業に向けて、児童間のつながりを作る。
- 5 内容
  - ・ 3グループに分かれて、異学年児童同士で会食。  
(1グループ5名、巡回の先生に各グループ1名の先生が入る)
  - ・ 日本語教室のクイズ (日本語教室に在籍する児童がどこの国から来ているか、日本語教室で教えている先生の人数、渡邊先生の名前、宿題シールを一番たくさんもらった児童は誰か)
- 6 感想
  - ・ 普段勉強している教室で給食を食べるという体験が非常に新鮮だったようで、児童はみな楽しそうにしていた。今回は教師が主導となって、レクリエーションを企画したが、6年生・5年生の児童が中心となって運営していけるよう今後も取り組みたい。

**7月****お楽しみ給食会 曾野小**

- 1 日時 7月17日 12:35～13:10
- 2 会場 岩倉市立曾野小学校
- 3 参加者 外国にルーツをもつ児童
- 4 目的 外国にルーツをもつ児童の交流を図るため。  
自分のルーツに誇りと自信をもつきっかけづくりとして。
- 5 内容
  - ・ 6年生が中心になって準備をし、司会進行を行った。
  - ・ 給食をいただきながら、自己紹介をし、交流した。
  - ・ スライドにて「世界いろいろクイズ」を行った。  
児童がルーツをもつ国の食べもの、民族衣装、観光地などを紹介した。その国にルーツをもつ児童がクイズの答えを説明したり、自分の言語であいさつを披露したりするなど、子どもの活躍の場があった。



**7月**

## 高校視察（名古屋情報専門学校）

- 1 日時 7月21日 9:00～12:00
- 2 会場 名古屋情報専門学校 会議室
- 3 参加者 7名（加藤，中村，油浅，服部，藤川，伊藤，谷）
- 4 目的 今年度入学した岩倉中の卒業生が，どのような学校生活を送っているか見学を行う。また進学後どのような支援を受けることができるのかを伺う。
- 5 内容
  - ・ 学校紹介
  - ・ 質問への回答
  - ・ 質疑応答
  - ・ 校内見学



5カ年一貫教育を掲げている学校である。日本語の支援を必要とする生徒は，外国籍20名，日本国籍10名が在籍している。（2019年7月現在）3年間，提携校の通信教育を受けることで高校卒業資格を取得することができ，支援も手厚い。外国籍の生徒や帰国子女の生徒に対する日本語面の支援はあまりしていないとのことであったが，学校生活の中で生徒それぞれの課題に対してできるまで指導・支援するとのこと。また，1年次より各種検定についても簡単なものから受験を促し，手厚く指導し合格させることで生徒の自信につなげるようにしているとのこと。学力に不安のある生徒も安心して勉強に取り組める環境であると感じた。

学校の大きな方針として「安心できる学校生活」を掲げており，クラス担任の先生が教室で生徒と一緒に昼食をとるなど，教員と生徒との関係が築きやすくなる仕組みがたくさん作られていた。訪問したのは授業のない日であったが，自主的に登校し，楽しそうに活動する生徒の様子を見ることができた。生徒たちは落ち着いて，安心した学校生活を送ることができている様子であった。

学費については私学助成を受けることができ，授業料として納めたもの以上の追加での徴収はほとんどないとのことであった。不登校生徒や支援学級に在籍していた生徒，過学年の生徒でも他害のおそれのない生徒なら相談の上受け入れていると伺った。

**7月**

## 夏期情報交換・交流会

- 1 日時 7月26日 10:00～16:00
- 2 会場 岩倉市立岩倉南小学校
- 3 内容 テーマ別情報交換会  
グループに分かれての情報交換・交流  
日本語教室公開，資料閲覧  
全体会
- 4 参加者 96名  
県外－10名，県内－58名，市内－8名，担当者－20名



参加者の感想より ～一部抜粋～

- ・ 絵カード等参考になるものが多くあったので，参考にして，個に合った指導をしていきたい。さまざまな立場の方との情報交換や悩みなどについて

て交流することができて勉強になった。

- 教材がレベルごとにファイリングしてあるので、すぐに黒板に貼ることができ、コピーして使うことができると感じた。
- 教材の豊富さはもちろん、整理の仕方も勉強になった。
- 日本語教材だけでなく、母語教材も見られてよかった。
- 教科指導と日本語能力向上をどのようにつなげるか、ヒントがもらえた。
- 現場ごとに悩みはつきないが、皆さんの経験を聞き、多くの情報をもらうと共に、次への活力をもらうことができた。
- 今回出された生の声が広がり、行政に取り上げられていくと、私たちの仕事の活性化に弾みがつく。
- 日本語担当者からの情報提供が具体的で、事例もあり、わかりやすかった。
- 岩倉市の先生方のチームワークに感動した。
- 地域との連携、大学との連携も大事だと感じた。



## 7月・8月

### 夏休み宿題教室 (各校)

- 1 会 場 日本語教室，図書室など
  - 2 目 的
    - 夏休みの課題を提出日に出せるように支援する。
    - 課題にじっくり取り組むことで達成感を味わわせる。
  - 3 内 容
    - 日誌の指導
    - 感想文，応募作品，習字など
- ※ 家庭で取り組むことが難しい課題
- 4 感 想
    - 『児童の感想』
      - 宿題会に来ると頑張れるし，楽しい。
      - ポスターを描いたとき，細かいところは息をとめて描いたので，うまくできた。
      - みんなが習字をやっていたからやってみたかった。難しかったけど，きれいに書けた。
    - 『保護者の感想』
      - できた作品を持って帰ってくる時の笑顔が嬉しかった。
      - 家では教えられないこともたくさんあるので助かった。
  - 5 夏休み宿題会を終えて
    - 保護者の送迎で宿題会も予定通り出来た。
    - 冷房の効いた図書室で宿題をすることができたので，勉強がはかどった。
    - 夏休みの家庭での生活の様子がよく分かった。



# 8月

## 多文化共生日本語スピーチコンテスト

- 1 日時 8月25日(土) 13時30分～
- 2 会場 愛知県図書館 大会議室
- 2 参加者 東小5年生児童1名, 6年生児童1名  
岩中3年生生徒1名

4 内容  
多文化共生日本語スピーチコンテストに応募し、原稿審査で3名が第一次選考を通過したため、本選に出場した。話し方やスピーチの内容が評価され、1名が最優秀賞、もう1名が特別賞に選ばれた。



# 9月

## インタビューと毎日新聞「教育の窓」、デジタル新聞に掲載 五条川小学校

- 1 日時 9月20日(金) インタビュー  
9月23日(祝) 毎日新聞「教育の窓」、デジタル新聞に掲載
- 2 会場 岩倉市立五条川小学校 日本語教室 (インタビュー)
- 3 参加者 日本語担当 (インタビュー)  
新聞作りに関係した児童 (掲載新聞)

- 4 内容
- ・ 2年間にわたり壁新聞作りをして、子どもたちがどのように成長し、キャリア教育にどのように役に立っているのかについて、インタビューを受けた。
  - ・ 連載「教育の窓」の最終回に記事が掲載された。
  - ・ 同日のデジタル新聞にも掲載された。
- 5 感想
- ・ 子供たちも新聞作りについての取材の依頼を受け、喜んでいた。
  - ・ 保護者も掲載記事を見て、喜んでいた。



五条川小の日本語指導教室に通う児童がつくった壁新聞。子ども新聞の記事をもとに、それぞれの意見が書かれている

<教育の窓 kyoiku no mado >

10月

## 南中ふれ愛フェスティバル 南部中学校

- 1 日時 10月19日(土)
- 2 会場 南部中学校
- 3 内容

第一部：日本語教室発表「クイズ・de・多文化共生」

生徒が自分にルーツのあるトルコ、フィリピン、ブラジルについてクイズを作成し、全校生徒を対象にクイズ大会を行った。

司会を含めて生徒たちが進め、日本語だけでなく、ところどころで英語やポルトガル語で説明する場面もあり、緊張しながらも事前に何度もリハーサルを重ねた成果を披露していた。

第二部：日常からトビタテ！世界1周 ルーツの旅

日本語教室では、フィリピン、ブラジル、ザンビア、トルコといった生徒と教員にゆかりがある国々を紹介する写真をスライドショーにし、披露した。生徒たちの子どものころの写真が映された場面では、本人は恥ずかしくもうれしい様子で、クラスメイトに撮影された場所や場面を説明していた。

訪れた卒業生と旧交を温めることができ、また、保護者や地域の方たちも訪れてくれ、交流することができた。来場者には国旗シールをプレゼントして、好評であった。

また、生徒たちは在籍する学級で、それぞれの役割を果たして参加していた。



10月

## 日本語能力試験 表彰 岩倉南小学校

- 1 日時 10月21日(月) 全校集会
- 2 会場 岩倉市立岩倉南小学校 体育館
- 3 参加者 5年生1名、6年生11名
- 4 内容

- 7月に行われた日本語能力試験の合格者2名を全校集会で表彰した。合格証書は発行されないため、学校名で作成した。全校児童の前で表彰されることに、両児童とも緊張していたが、とても晴れ晴れした顔で賞状を受け取っていた。これを機にさらに日本語学習に前向きに取り組んでくれることを期待する。



# 10月

## 就学時健診 市内小学校

岩倉東小学校では、ブラジルにルーツをもつ来年度新入学児童の保護者を対象に、スライドを使って日本の学校について説明をした。約10名の方が参加し、熱心に話を聴いている様子だった。

また、外国にルーツをもつ幼児には、日本語レベルを測る30問テストを実施した。就学時健診の終了時に各家庭の親子と面談し、テストの結果を報告した。そこで、日本語の力を伸ばすためのアドバイスや、プレスクールへの参加を呼びかけた。



【日本の学校について説明をする様子】

# 11月

## 国際交流 岩倉中学校 コスモス祭 達人道場「ブラジルの文化にふれよう」

- 1 日時 11月8日(金)
- 2 参加者 生徒 29名
- 3 講座内容
  - ・ カポエイラの歴史について
  - ・ 実技指導
  - ・ 楽器について

### 『生徒の感想』

- ・ 外国の文化に触れる機会が今まであまりなかったので、カポエイラを体験することができてよかった。
- ・ カポエイラ独特の歌とリズムがおもしろくて、思わず歌の歌詞をメモしてしまった。みんなで歌えたことが楽しかった。
- ・ 珍しい楽器を直接演奏させてもらえたことが嬉しかった。





## 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 公開指導 南部中学校 11月11日 (月)

のべ参加人数 - 122名 (市内-35名, 県外・市外-67名, 担当者-20名)  
公開指導参加者 - 101名 (意見交換会参加者-108名, 情報交換会参加者- 66名)

### ◎ 公開指導 2時間目 9:45~10:35

#### ポルトガル語指導 (南多目的室)

〈本時の指導対象生徒〉

- ・ 1年生1名, 2年生2名, 3年生1名
- ・ ポルトガル語のレベルは, ブラジルの小学4年生程度。

#### ○ 「読解」

- ・ ブラジルの文化に関する文章を読み, それについての問いに答えたり, 自分の意見を正しいポルトガル語で話したりする。

#### ○ 「辞書の使い方」

- ・ ポルトガル語辞書を使って, 言葉の意味を調べる。

#### ○ 「文法」

- ・ 動詞の活用を練習する。



#### 『参加者の感想より』

生徒が母語を学ぶことの必要性を感じました。

動詞のすぐろくでは, 生徒がなかなか答えられない場面がありましたが, ヒントを出されたり例を出されたりしていて, 楽しみながら学習していると感じました。このように母語の学習を通して, 言葉による思考力が育成されていき, 学ぶ力がついていくと感じました。

#### 日本語初級指導【S1】(日本語教室)

〈本時の指導対象生徒〉

- ・ 3年生2名
- ・ 対象生徒のうち1名は今年4月に編入。  
初級日本語指導と教科補充指導を行っている。

#### ○ 「算 数」 図形

- ・ 図形の単元で必要な教科用語を確認する。

#### ○ 「数 学」 図形の調べ方

- ・ 三角形の合同条件を確認し, 練習問題を解く。

#### ○ 「日本語」 語彙・文法

- ・ イメージマップを使って語彙の確認と整理をする。
- ・ 文型「(理由) から」, 「~と思う」を練習する。

#### ○ 「国 語」 わかりやすく説明しよう

- ・ 学習した語彙と文型を使って, 将来について作文を書く。



#### 『参加者の感想より』

小学校での内容を復習したあとに, 中学の内容を教えていて良いと思った。

算数の用語を簡単なことばに置き換えるのではなく, その用語の意味や使い方を教えることが大切だと思いました。

来日して7か月で聞かれていることを理解してこたえられることに驚きました。教科の学習を通して日本語を学ぶというのも, 理想的だと思います。

## 日本語中級指導①【S2,S3】（南多目的室）

〈本時の指導対象生徒〉

- ・ 1年生4名
- ・ 日常会話に支障はない。  
教科指導を通して、日本語指導を行っている。

- 「数 学」図形
  - ・ おうぎ形の面積の求め方を考える。
- 「日本語」表現
  - ・ おうぎ形の面積の求め方を、相手にわかるように説明する。
- 「国 語」今に生きる言葉
  - ・ さまざまな故事成語についての由来や意味を知り、自ら使うことに挑戦する。



### 『参加者の感想より』

これぞモジュール，限られた時間を十分に使っていました。

子どもたちがおたがいに関わり合いながら学習している様子がすばらしいなと思いました。笑顔が良いですね。

何度も意味を言いかえながら用語の説明をしていたことが印象的でした。特に視覚的に図等を使って説明することを私も積極的に取り入れようと思いました。

## 日本語中級指導②【S2】（日本語教室）

〈本時の指導対象生徒〉

- ・ 2年生3名
- ・ 日常会話に支障はない。  
教科指導を通して、日本語指導を行っている。

- 「国 語」君は「最後の晚餐」を知っているか
  - ・ 語彙の確認や説明文の読み取りをする。
- 「数 学」二等辺三角形の角度
  - ・ 定義を使い，角度を求める練習をする。
- 「社 会」中部地方
  - ・ 地形や気候に関することばを知る。
- 「理 科」電流と回路
  - ・ 電気用図記号や回路図のかき方を知る。



### 『参加者の感想より』

50分の授業の中で4つも内容を盛り込んで本当に学習がうまくいくのかと思っていましたが，授業を見させていただいてどの内容もとても良いテンポで，要点を押さえた内容になっていてすごいと思いました。

中学の学習も，視覚情報があるだけでこんなにわかりやすくなるんだと実感しました。先生方の説明もとても温かく的確でした。

## 【全体を通して】

毎年参加させていただいております。一人ひとりを大切に育ててみえる姿に感謝いっぱいです。地域の子子どもたちが出身国の内外を問わず心豊かに成長できるように願ってやみません。今後とも温かいご指導をお願いいたします。

日本人と変わらぬことを学べる市の体制に感心しました。  
生徒さんの前向きな様子がとても印象に残りました。また、モジュール方式についての発見がありました。

目の前の子どもが笑顔になるために自分ができることを探り、形にしていけます。すばらしい刺激をたくさんいただくことができました。本日はありがとうございました。

岩倉市の市独自で日本語適応指導教室が確立されている点にとっても感心させられます。また、このように公開指導で現場で指導されている先生方の生の声が聞けることがとてもありがたいです。今日ここで学んだことを明日からまた自分の生徒たちの未来へ生かしていこうと思います。ありがとうございました。

たくさん学ばせていただきました。とても多くの情報を聞いてよかったです。次回もまた聞きたいです。

## ◎ 意見交換会

- 岩倉市教育委員会 長谷川教育こども未来部長  
皆様、おはようございます。ご紹介を頂きました  
「岩倉市教育委員会 教育子ども未来部」長谷川忍  
と申します。本日は、岩倉市日本語・ポルトガル語  
適応指導教室に、たくさんの方々にご参加頂き、あ  
りがとうございました。本来であれば、岩倉市教育  
長の長屋がご挨拶するところですが、所用がござい  
まして、私が代わりにご挨拶させていただきます。

まずは、本日の公開指導をご覧頂いていかがでし  
たでしょうか。今日は他県から来て頂いた方も多い  
と聞いております。しかし、今日の授業は特別な授業をしたというわけではなく、  
普段の授業を公開した次第です。

私は行政職でございまして、教員資格があるわけではございません。教育委員会  
に初めて配属された4年前に、日本語指導を初めて見たときは、とても驚きました。  
実は、私はこの南部中学校の卒業生ですが、昭和という時代には考えられないこと  
が起きていると思いました。4年間で何回か指導を見させて頂いて、だんだん素晴  
らしさが分かってきたところです。子どもたちが、本当に生き生きとして指導を受  
けていること、先生の授業を一生懸命、理解しようという姿勢があることが、本当  
に嬉しくなるぐらい分かります。そして、こんなにもたくさんの方に見に来て頂い  
たときも、ほっこりとした良い姿をお見せできたと考えております。

この日本語教室も19年目ということで、準備から考えますと、20年以上の間、試  
行錯誤しながら、体制を新しくしながら、今日、お集まりの地域の皆様のご協力を  
得ながら、情報を発信しながらと続けてきたことが、岩倉市だけでなく、愛知県、  
日本へと広めていくことへとなったかと思えます。

5月の調査で、教育が受けられていない日本に住む外国の方が2万人いらっしや  
るということで、記事によると6人に1人が教育を受けられていないということでした。  
アフリカの世界で一番学校に通えていない地域では、5人に1人が学校に行く  
ことができている。日本にいる外国人は、6人に1人が学校に通えていないという  
事実が明らかにされていまして。入管法が改定されまして、外国から来る方が、益  
々増えていくことが予想されます。我々、行政もいろいろ考えられることがあります  
し、学校現場でそれぞれ取り組みをされていることを今日は情報交換しながら、  
行政にも学校現場にも生かしていけるような機会になって欲しいと思っております。

今日は、岩倉市、それから県内、県外からもたくさんの方にお越し頂いておりま  
すので、この会を通して、のちのちまで情報交換ができるつながりができたらと思  
っております。最後までよろしくお願い致します。



○ 岩倉市立南部中学校 有尾校長

皆様、こんにちは。会場校を代表致しまして挨拶させて頂きます。本日は、県内及び、遠くは大阪、千葉から、からも来て頂いていると聞きました。本当にありがとうございます。

そんなめでたいときに申し訳ないのですが、実は、今朝、出勤しましたら、インフルエンザが多く発症していると報告がありまして、明日から2年生の2学級で学級閉鎖を行います。本日の朝の職員打ち合わせで、「今日、日本語指導の公開があって、普段の普通の学級での様子も是非皆さんに見て頂きたいと思っていたのですが、インフルエンザに気がつけて頂かないといけなくなってしまって、回って頂けなくなって残念です」と話したら、たくさんの職員が深く頷いていました。何が残念かと言うと、日本人の子たちと外国人の子たちが、普通に、当たり前のように生活する姿を是非皆さんに見て頂きたいと思って、どの教室も公開をするつもりをしておいてくださいと職員に話していたのにお見せできなくなってしまったことです。本当に、当たり前のように、外国の子たちを支えている様子があります。

外国の子たちを支えているものには、私はもう一つあると考えています。それは、「知をひらく」という目標を掲げていることです。5年程前から、本校は深い学びを目標にして授業研究を行っています。子どもたちが関わり合いながら、支え合いながら、そして、困っている子を見捨てることなく全員参加の授業を目指して授業研究に取り組んでいるわけです。教室の中では、外国人の子も含めて、4人グループを作って、支え合いながら授業をしています。できるだけ教員は口を出さない授業を目指しています。そんな中で、子どもたちが深い学びに浸っているのではないかと認識しています。今日ご覧頂きました日本語指導の中でも、もしかしたらお気づきになった方がいらっしゃるかも知れませんが、机の位置が、始めはバラバラでしたが、次第に近くなってきてピタッとくっついた教室がありました。そして、さらに、子どもたちが向き合った形が最終的にとられています。これは、日本語適応指導の進化だと思います。そんな中で、さらに子どもたちが関わり合いながら生活することが、本校を卒業したときには当たり前となる社会になるように南部中学校全校で取り組んでいきたいと考えております。

また、いろいろな地域の事情や意見も伺いながら、さらに深めて参りたいと思っておりますので、今日一日、よろしくお願い致します。

○ 質疑・応答

蒲郡市立塩津中学校 教諭

- ・ 今年度初めて中学校に勤務になりましたので、どのように指導をするのかと、見させて頂きました。そして、とても驚きました。
- ・ 1時間を4モジュール、4教科に分けて指導することでしたが、この教科はどのように決めているのでしょうか。年間予定表ですとか、週に何時間であるとか、どのように決めているのか教えてください。
- ・ 自分の学級（在籍学級）の授業の進度がどのぐらいで、どこまで取り出しで指導してあったら在籍学級で困らないのかという連携をどのようにされているか伺いたいです。



蟹江町立蟹江中学校 教諭

- ・ 1時間で4教科を教えるという話がありましたが、その専門教科の免許をもってらっしゃるのか、どんな先生方が指導されているのかを教えてください。  
→ (加納) 本適応指導教室では、独自の指導カリキュラムを作成しています。それに合わせて、年間の指導計画を立て、体育館後方に置かせて頂いていますけれども、学年、岩倉市ではステップと呼んでいる日本語レベル別に、モジュールを

組んで年間指導計画を作成しています。この年間指導計画を一つの指針として、各担当者が児童生徒の実態に合わせて、それぞれ指導計画を作成し、取り出し指導を行っています。

→ (村瀬) 免許のことですけれど、小学校免許と中学校免許をもっているものを、ここでは採用しています。中学校で指導するとき、英語や国語、それぞれ免許をもっている教科を教えているということはありません。各自で教材研究をしたり、岩倉市で研修会をしたりしながら、免許外の理科や社会も指導しています。間違っただけを教えないように、研修会ではそれぞれの得意なことを教え合うという形で研修をしています。

→ (勝田) 担任の先生との連携に関しては、授業の進度等が在籍学級と異ならないように、毎朝、担任の先生に、在籍学級ではどんなことを指導するか聞きます。そして、子どもたちが在籍学級に戻ったときに、きちんと授業が理解できるように日本語教室で指導を行っています。そして、指導が終わったら、その日のうちに、担任の先生にどんな勉強をしたか報告しています。

#### 春日井市立尾東小・中学校 教諭

- ・ 今日、授業を見せて頂いたんですけど、どの段階で通常学級に戻るのか教えてほしいと思います。

→ (加納) 本適応指導教室では、小学校の段階と中学校の段階で在籍学級で授業を受ける時間が変わります。まず、岩倉市適応指導教室の評価のレベルでステップ4、5に到達している児童、これは小学校の在籍学級のテストで8割以上とれるレベルです。また、日本語能力試験N1に合格した児童は取り出しを卒業できるレベルだと考えています。ただし、日本語レベルでは授業についていけるレベルであっても、いろいろなどころにハードルがありますので、いつでも日本語の取り出し指導ができるよう担任の先生と連絡をとっています。また、指導はしてなくても、我々が関わらないということではなく、指導以外のところで支援をしています。



- ・ 中学校に上がったときに、数学や英語など、日本語の影響が受けにくい教科があるが、全ての教科でレベルをクリアしてから在籍学級に行かせるのか、レベルをクリアした教科から在籍学級に行かせるのか、どちらか教えてください。

→ (加納) 基本的に、取り出しをする時間は国語、社会です。子どもたちは、取り出し指導の時間に日本語教室に来て、それ以外は在籍学級で授業を受けています。したがって、数学や英語などは在籍学級で授業を受けています。国語や社会の時間に取り出し指導をするときに、数学で分からない教科語彙も何とかサポートしたいと思っています。ですから、国語の時間なんですけど、モジュール形式で数学に取り組むことによって、本来の教科以外にも対応するようにしています。

→ (加藤) 取り出し指導の時間を決めるのは本当に難しく、私たちも大変、悩みながら取り出し時間を決めていきます。国語の時間を1時間だけ取り出しても、在籍学級の授業が途切れてしまう。本当にこの指導時間でよいのかということは、毎週、毎月、毎学期、担当者みんなで話し合いながら悩んでいます。

#### 長野県松本市立並柳小学校 教諭

- ・ 12名の子どもたちを日本語教室で教えています。昨年度、2名が中学校へ進学していったが、最終的には中学から高校進学へという話になるわけです。中学校では、高校進学のために、どのような支援体制をとっているのか教えて頂きたい。長野県では、振り仮名を付ける というような外国人に対する配慮は、来日から3年間という制限があります。愛知県ではどのような支援体制があるのかを教えてください。

→(中村) 過去問を手に入れて勉強するというような、日本人にとっては当たり前の受験勉強の仕方ということが、外国人の生徒にはなかなかできません。ですから、受験勉強の仕方から教えています。そして、日本語教室に来れば、高校のための勉強や定期テストができると思ってもらえるような指導をしています。過去10年分ぐらいの試験問題を、普段の指導の中でも取り入れています。



→(愛知県立岩倉総合高等学校長) 来年度より、本校は外国人生徒を対象にした特別入試を行うことになりました。愛知県の公立高校の選抜について話します。定時制課程では、その定時制高校によって違いはありますがけれども、申請をすればルビ振りをすることができます。定時制課程のテストですので、易しい基本的なテストとなっていて、国語・数学・英語の基礎学力テストと、作文、面接試験があります。定時制では、意欲があることが大切です。定時制には、前期選抜と後期選抜があって、前期選抜に特別な配慮があります。全日制課程の話をしてします。全日制課程の外国人特別選抜には必要条件がございます。来日後5年以内、小学校4年生以降に来日した生徒でなくてはなりません。これは、また定時制と同じぐらいの易しいテスト問題にルビ振りをして、総合的な判断で各校合否を出していると思います。ただし、全日制は入ってからの勉強が大変で、なかなか志願者が増えないという実情があります。

#### 小牧市立岩崎中学校 国際教室担当

- ・ 外国にルーツをもつ生徒がたくさんいる学校の一つですが、特別支援学級においては、多くが外国にルーツをもつ生徒です。そういった生徒に対して、岩倉市ではどのように対応しているのかということと、通常学級においても、言葉に問題があるのか、能力的に問題があるのかの見極めが大変難しく、担当者が悩んでいます。岩倉市では、どのような対応をしているのでしょうか。

#### 大阪市立大阪東小学校 教諭

- ・ フィリピンからの子どもがたくさん来ていて、私1人では初期指導だけでいっぱい状況です。
- ・ 1年半かけてもひらがなが覚えられない子どもが数人います。どこまで初期指導を続ければよいのかと考えています。学習障害ということも考えていますが、私は、いつまでひらがなを教え続ければいいのでしょうか。

→(油浅) 特別な支援が必要な外国にルーツをもつ子が最近増えていると感じています。しかし、それが日本語に問題があるのか、発達に問題があるのかの見極めは専門家でも難しいです。できるかぎり、母語が分かる人に見てもらって、状況を把握することが大切だと思います。母語の状態がどういう状態であるのかを見るのは、なかなか日本人には難しいことで、また、全言語で対応はできていないので、課題だと思っています。困難なことは個々によって違っているので、苦手なこと、得意なことを一人一人に応じて把握していくしかないと思います。特別な支援については外国にルーツをもつ子どもも日本人も同じで、この子は何が得意なのかということと、何に課題を感じているのかを把握して、一人一人対応していくしかないと考えます。ひらがながなかなか覚えられないということでしたけれど、岩倉市にもそういった子はいます。ひらがなとカタカナを見分けるといえるのは、大きなハードルになるので、その子にあった方法は何かということ、その子が視覚優位なのか聴覚優位なのか等を見極めながら、根気強く続けていくということをしています。場合によっては、特別支援学級の担任の先生や普通学級でその子どもに関わっている先生と連携しながら、よりよい対応を見つけるよう心がけています。



- ・（発達に課題があるかを調べるために）DLAをしても、それができるのかできないのか分からないし、WISCをしても、その結果が信頼できるのか分からない。何か信頼できる検査はないか。

→（加藤）中学校で来日した男の子がいるんですが、学校で受け入れの手続きをしているときに、私とポルトガル語講師は違和感を感じました。保護者からは何も話がなかったが、おそらく、母国のブラジルでは、特別支援学校というのは本当に重度の支援が必要な生徒が通うので、保護者も隠そうというのではなく、本当に特別な支援の話はなかったのだと思います。しかし、彼は発達障害があるような気がして、校長、教頭、特別支援学級の担任と連携して、現在は特別支援学級に通っています。しかし、このときに、私たちが何かテストをしたり、判断をしたりということはありませんでした。療育手帳を取得するときにはテストも必要となってくるので、児童相談所からは来日半年以上が経って日本語がある程度できるようになってからと伺っています。学校の方で、この子は特別支援学級の方がよいという判断をしたということです。



#### 愛知県教育・スポーツ振興財団 中学夜間学級 教諭

- ・生徒32名のうち、31名が外国にルーツをもつ生徒ということで、日本語指導に力を入れなければならないと考えています。
- ・岩倉市のこの取り組みには、たくさんの先生方と、19年の積み重ねがあると思いますが、1年目はどのように外国人支援に取り組んだのか教えて頂けると我々の力になるのかと思います。

→（村瀬）何にもありません、0です。0というよりも、どちらかという、「なんで外国人に指導しなくてはならないのか」というマイナスの思いも聞かれました。まずは、基本的なことからはじめましたが、自分は日本語の知識もありません。何もないところから、手探りで始まっていったという感じです。ただ、モジュール形式は最初から行っていました。なぜなら、外国人の子どもたちを見たときに、飽きたら勉強しないという姿勢だったので、飽きさせないようにモジュール形式をはじめました。また、学校教育の中の日本語教育ですので、3年ぐらい経って帰るときに、「日本が好きだ」「日本に来て良かったな」と思っただけで満足してやっていた。在籍学級での授業ではお客さん状態なので、ゲーム形式を取り入れたり、コミュニケーションをたくさんとったりしてやってきました。そして、情報収集だけはたくさんしました。あちらこちらに行き回って情報収集をしていました。当時、小牧、群馬、大泉等の方が10年前からやっていたので、その資料を片っ端から集めて、自分に何ができるか、岩倉市に何が必要か、そして、自分が楽しくないと子どもも楽しくないので、自分が楽しいと思うことをやってきました。このように、まずは勉強から始まったのが現状です。



#### ○ 岩倉市教育委員会 高橋管理指導主事

熱心な話し合いをありがとうございました。先ほど特別支援の話がありましたが、岩倉市小・中学校では、特別支援学級が外国人児童生徒で埋まってしまうという状況にはなっていません。どちらかという、それは外国人児童生徒の情緒の問題だと、私は思います。よい言い方ではありませんが、通常学級の日本人の子どもも同じで、ある年のある学級では非常にお話がよく聞けるが、他ではそうでないということがよくあります。岩倉市の外国人児童生徒は情緒が安定している



から問題ないのだと思います。その秘訣は、先ほどもありましたが、担当者会だと思  
います。担当者会というのは毎週1回あります。全員が集まって、情報交換等をし  
ます。その情報が、毎週、教育委員会に上がってきます。そこに、一人一人の子ども  
たちの情報が書かれています。毎週の担当者会で、みんなで子ども一人一人の情報  
をかつかもうとしているということは、要するに、日本語適応教室全体で、市内270名の  
児童生徒を育てよう、責任をもって育てていこうという気持ちがあるということだ  
と思います。学校は学校で、日本人であろうが、外国人であろうが、責任をもって  
子どもたちを見ていますが、日本語適応指導教室は、指導教室で預かった児童生  
徒をきちんと引き受けていこうという、2重の円になって、外国人の子どもたち  
を学校と日本語適応教室で引き受けようとなっています。こうなっていることが、  
日本語適応指導教室に「愛」があるということなのだと思います。

今日は授業を見て頂きました。授業の中には大きく分けて、日本語指導と教科補  
充がありました。教科補充の中で日本語を学ぶことが極めて重要だと思っています。  
他市町の日本語指導を見せて頂きますと、日本語の指導になっていることが多い  
かと思えます。岩倉市では、教科の指導にもかなり力を入れています。教科の指  
導の時間では、教科の力、日本語のコミュニケーションの力、認知能力、異文化理  
解、それらが統合された状態であるといえると思います。もう一つ言えば、自分  
の在籍学級での学びと日本語教室での学びが、一つの文脈の中で学んでいるとい  
うことが意義があると思っています。逆に言えば、これは今後の大きな課題にな  
るとも思います。教室での学びと日本語教室との学びが一つなぎにあるかを考  
えながら指導していくことで、よりよい指導になるかと考えています。

◎ 昼食・休憩（南多目的室） 12:00～13:20

◎ 指導教材、資料等公開（日本語教室・体育館） 13:20～13:55

◎ 情報交換会 14:00～15:50

※ 『情報交換会』の記録全文は、ホームページに掲載。

実践報告には、前半『同じような立場の方との情報交換』と後半『いろいろな立場の方との情報交換』、それぞれ1グループずつ掲載。

○ Iグループ『同じような立場の方との情報交換』

(1) 初期指導について

- ・ 1年半、初期指導をしているが、平仮名の学習で止まっている。平仮名も覚えても忘れてしまう。保護者には、特別支援学級を勧めるも支援学級に対するいいイメージがないので、通常学級の在籍になっている。こうした相談について、長期間、同じ方法で指導していても覚えられない場合、方法を変えることで、その個々に合った指導方法を見つけ出す。「と」のように一文字で頭に入らない場合は他の言葉とくっつけて、「とまと」のように日常生活で多用する言葉にして定着を図る。ドッチボールや授業と関係ない遊びなどを取り入れて、気分転換をさせる。似た文字やよく間違える文字を取り上げて、反復して練習させる、などの回答があった。
- ・ 短期間に複数の児童が違うタイミングで入ってくると、進度が変わって指導が難しい。3週間の間に、各週1名の児童が初期指導に入ってきて、進度の調整が難しい。こうした相談について、初期指導の人数を限定しておく、5人なら5人と定員を決めて、初期指導が終了する児童が出るまで溢れた児童は待機させておき、順に初期指導をスタートさせる、などの回答があった。
- ・ 初期指導でどこまで指導すればよいかわからない。こうした相談について、日本語学級IやIIを基準にし、教材の單元ごとに指導の目安を決めるといいとの回答があった。



## ○ 9 グループ『いろいろな立場の方との情報交換』

### (1) 学習習慣のない子どもへの指導について

- ・ 宿題シールを活用して、やる気にさせる。3回連続でやってこられない場合は、教室に返している。指導時間中に教室に戻る恥ずかしさで、宿題に対する意識を高めたいと考えている。
- ・ 中国では、家庭学習が当たり前という意識があるため、非常に意欲的に宿題をやってくる。
- ・ 親の協力が得られない。
- ・ フィリピンでは留年があるため、子どもたちは必死に勉強をしている。しかし、日本では全員が進級できる上、先生が非常に優しいので、宿題をやらなくてはいけないという意識が生まれにくい。トルコやフィリピンの学校の先生は、かなり厳しく、子どもたちは先生に怒られることを恐れて、勉強をしている。トルコなどでは先生にハンガーでたたかれたりすることもある。
- ・ YWCAのグローバルスクールの中でも、お金のかかるコースを選択している子どもたちは、必死で宿題等をしていく。テストで落第することもあるため、必死。特に過年齢の学生たちはアルバイトをして費用を負担している。

### (2) 在籍級の宿題やテストの内容の正当性について

- ・ 子どもたちに出される宿題が、彼らの日本語力よりはるかに高い内容のものになっているため、学習に対する意欲が湧かない。答えを丸写しするだけの課題に意味を感じない子どもも多くいる。
- ・ 社会のテストなどで、「信長」と漢字で書かないと正答にならないことに意味があるのか。信長を知っていることが重要なはずなのに、その配慮がされていない。
- ・ (上記の意見に対し) テスト内容等を日本人生徒と別に設定することは彼らにとって得策なのか。
- ・ テストに辞書の持ち込みを可とするなどの対応があれば、と感じる。(大学では、それが認められているのに・・・) また、電子辞書等を子どもたちが持っていれば、自学自習できるのでは? というアイデアもあったが、経済的事情で買うことのできない家庭などもあるため、それも課題(一方でどんなに経済的困難な家庭でもスマートフォンは持っているが。)
- ・ 定時制高校では、テストの下に先生へのメッセージ欄があり、そこに学習への思いや取り組んだことなどを訴えることができる。テストはできなくても、そこでがんばりをアピールすることができるため、そういうことを中学でも導入してほしい。

### (3) 帰国する児童生徒について

- ・ 帰国するので日本語の学習の必要はないという子どもに対しての対応に困っている。親が、子どもに安易に帰国する話をするため、子どもたちの学習意欲を下げている。
- ・ 岩倉東小学校では、チケットを買ってから帰国の話はしなさいと指導している。(実際に帰国をしなかったり、突然帰ってしまった家庭が多いため。)

### (4) 九九の指導について

- ・ 九九ができるかできないかが、学力判断の基準になる。九九でつまずいている子どもはすべてにつまずいていることが多い。

## ○ 全体会

### (1) 教材作成について

- ・ 大学院で、中学の理科教材に数か国語の翻訳をつけたものの開発をしている。
- ・ 近隣の大学から、留学生が母語指導ボランティアとして公立学校に行っている。

### (2) 学習言語について

- ・ 中学理科の学習言語が非常に難しく、指導で困っている。来日前に、子どもたちが母国でどのような勉強をしているかを把握するとともに、日本語教室と教室とで連携をし、語彙の学習だけでなく、実際の実験と繋げることで、学習

内容の習得を目指していくのはどうか。

(3) 特別支援教育について

- ・ 日本に来てから、特別支援学級へ繋いだという例がある。検査を受けて診断が出たということもあるが、いつもその生徒と接している教師が、何が苦手何が得意なのかということ把握していたということも、特別支援学級に繋ぐことができた一因である。
- ・ 特別支援学級への在籍を嫌がる保護者は多い。保護者には、日本語教室では1日1時間程度の取り出ししかできないため、もっと日本語を十分に学習してもらえるようにと、特別支援学級への在籍を勧めた経験がある。その際には、日本の学校では、いつでも特別支援学級から普通学級への在籍変更ができることを説明しておく必要がある。

**12月**

日本語能力試験 後期 25名受験

- ・ N1 合格者－ 2名(受験者 6名中)
  - ・ N2 合格者－ 8名(受験者 11名中)
  - ・ N3 合格者－ 3名(受験者 5名中)
  - ・ N4 合格者－ 2名(受験者 2名中)
  - ・ N5 合格者－ 0名(受験者 1名中)
- 25名の受験者中・・・合格15名、不合格10名

※ 今年度の日本語能力試験受験者・合格者数  
受験者 46名 － 合格34名、不合格12名



**12月**

日本語教室給食会 岩倉南小学校

- 1 日時 12月4日(水) 12:40～13:00
- 2 会場 岩倉市立岩倉南小学校 日本語教室
- 3 参加者 日本語教室取り出し児童(1年生～6年生 全16名)
- 4 目的 異学年・異文化交流
  - ・ 2学期以降に転入・編入してきた児童との交流。異学年の児童と会話をしながら給食を食べることで、縦のつながりをつくる。
- 5 内容
  - ・ 3グループに分かれて、異学年児童同士で会食。(1グループ5名、巡回の先生に各グループ1名の先生が入る)
  - ・ 日本語教室の児童の紹介(スライドで顔と名前と国籍を紹介)
  - ・ わたしはだれでしょうクイズ(6年生の進行)
- 6 感想
  - ・ 2回目の日本語教室での交流給食を迎えるにあたって、児童の名前と顔が一致するようにしたいということが目的であった。子どもたちは、自分の顔がスライドに映し出されるととてもうれしそうに声を上げ、みんなの名前を呼びあっていた。



た。6年生が司会進行してくれた「わたしはだれでしょう？」のクイズでは、4月に自分たちが書いた自己紹介カードを使った。子どもたちは、みんなの好きなことを想像したり、思い出したりしながら積極的に参加してくれた。時間が短いため、昼放課も使って交流できるような企画に発展させられればと思う。

**11月**

## 漢字検定合格者 表彰 五条川小学校

- 1 日時 12月6日（金） 昼放課
- 2 会場 岩倉市立五条川小学校 校長室
- 3 参加者 10級合格 2年 本田愛娘  
8級合格 5年 石橋アユミ  
7級合格 5年 齊藤令愛、橋本郁美
- 4 目的 達成感を味あわせる。
- 5 内容



- ・ 10月に行われた漢字検定合格者4名を校長室で表彰してもらった。校長先生からの温かな言葉かけが、子供たちのこれからの励みになった。

### 6 感想

- ・ 校長先生と話すのは初めてでドキドキしたけどすごく嬉しかった。
- ・ 今度も頑張ろうと思う。
- ・ お母さんに漢字を教えてあげたい。



**12月**

## 在名古屋ブラジル総領事館 教育フェア スピーチ

- 1 日時 12月8日（日） 10:00～10:30
- 2 会場 名古屋市公会堂
- 3 参加者 東小5年児童、岩倉中3年生徒
- 4 目的 オープニングセレモニーでのスピーチ
- 5 内容

夏休みの多文化共生スピーチコンテストでのスピーチが評価され、教育フェアのオープニングセレモニーでスピーチを行った。東小5年児童が日本語でスピーチ、岩倉中3年生徒の姉がポルトガル語での通訳スピーチを行った。

### 6 感想

当日、総領事の方とお会いして写真を撮っていただいたり、岩倉市の方がたくさん応援に来てくださり、とてもうれしかった。このような場でスピーチをさせていただけたことは、とても貴重な体験で、がんばってきたことの喜びと自信を感じた。



# 12月

## 国際理解集会 五条川小学校

- 1 日時 12月16日(月) 8:30～
- 2 会場 五条川小学校 体育館
- 3 参加者 外国にルーツをもつ児童 12名
- 4 目的 異文化交流  
子供たちが自分の役割を責任をもって果たす場を与える。  
子供たちに活躍の場を与える。



### 5 内容

- ・ 「世界のじゃんけん」を全校児童に紹介する。
- ・ 中国・ブラジル・フィリピン・インドネシア
- ・ マレーシアのじゃんけんの仕方を、舞台上でデモンストレーション、全校児童と舞台の上の児童とじゃんけんをしながら楽しむ。



### 6 感想

- ・ 発表はすごく緊張したけど、みんなの楽しそうな顔を見られた。
- ・ 手の動きを何回も練習して発表に合わせてできてよかった。
- ・ 自分の国のじゃんけんをみんなに伝えられてよかった。
- ・ 遊ぶときは、ほかの国のじゃんけんでやってみたい。

### 7 その他

- ・ 低学年でブラジルから来日した児童が、「ほかの遊びは何も覚えていないけど、このじゃんけんだけは覚えている。頭によみがえってきて嬉しい」と話してくれたことが印象的だった。



# 12月

## 保育園・幼稚園 視察

### 1 目的

次年度、入学予定園児についての情報交換を行うとともに、プレスクール対象園児の指導にいかす。

### 2 視察園

- ・ 下寺保育園
- ・ 曾野幼稚園
- ・ 曾野第二幼稚園
- ・ 岩倉幼稚園
- ・ 認定こども園岩倉北幼稚園
- ・ ゆうか幼稚園
- ・ 仙奈保育園
- ・ 中部保育園
- ・ 東部保育園



# 12月

## お楽しみ給食会 曾野小学校

- 1 日時 12月19日(木) 12:35~13:40  
(給食の時間~ロング放課)
- 2 会場 岩倉市立曾野小学校
- 3 参加者 外国にルーツをもつ児童
- 4 目的 外国にルーツをもつ児童の交流を図るため。  
自分のルーツに誇りと自信をもつきっかけづくりとして。



- 5 内容
  - ・ 5・6年生が中心になって準備をし、司会進行を行った。
  - ・ 給食をいただきながら、自己紹介をし、交流した。
  - ・ ロング放課には、5年生が企画したゲームをみんなで楽しんだ。1年生や日本語がまだ十分でない児童も、みんなで一緒に楽しめるように、4・5年生が実際にしてみるなどして、ゲームの説明を行った。



# 1月

## 国際交流 五条川まつり

- 1 日時 1月18日 8:45~11:10
- 2 会場 五条川小学校 日本語教室
- 3 参加者 外国にルーツをもつ児童、保護者、卒業生、ボランティア
- 4 目的 異文化交流  
保護者の学校行事への積極的な参加  
子供たちに活躍の場を与える。

- 5 内容
  - ・ 中国・ブラジル・フィリピン・インドネシア・マレーシア・アメリカ・顔じゃんけん・足じゃんけんの8ブースで各国のじゃんけんを説明し、参加者とじゃんけんをする。
  - ・ 20分間隔で、サイコロに出た国のじゃんけんをみんなでして、じゃんけん名人を決める。



## 6 感想

### 【参加者】

- ・ いろいろな国のじゃんけんがわかっておもしろかった。
- ・ みんなでやったじゃんけん大会は楽しかった。じゃんけん名人になれたし、かわいい景品をもらえてよかった。
- ・ 外国にルーツを持つ児童の保護の説明がとても上手だった。

### 【保護者】

- ・ 日本語をすらすら読むのは難しかったけど、たくさんの人と話せて勉強になった。
- ・ 毎年楽しい。

### 【児童】

- ・ 137人も来てくれて、嬉しかった。
- ・ 準備は時間がなかったけど、みんなで手分けしてやったので、いいもののできてよかった。
- ・ 景品を一生けんめい作って、喜んでもらえたのでよかった。
- ・ たくさんの方の楽しそうな顔を見られたし、自分もすごく楽しかった。

## 1月

### 新入児 入学説明会（一日入学時に実施）

#### ○ 目的

- ・ 保護者並びに入学予定者に小学校の様子を知ってもらい、入学準備の参考にする。
- ・ 日本の学校に入学するにあたっての心構えをもってもらう。
- ・ 保護者と教師で協力体制を作るきっかけにする。
- ・ 日本語教室について理解してもらう。

1 日時 1月30日（木） 13:30 - 15:30

会場 センター校（岩倉東小学校） 日本語教室

2 対象 来年度、岩倉市内の小学校に入学する外国人幼児の保護者

3 内容 ① 日本の学校について  
② 日本語・ポルトガル語適応指導教室について



## 2月

### 外国人のための入学説明会

1 日時 2月4日(火), 5日(水)

2 会場 南部中学校・岩倉中学校

3 内容

- ・ 中学校生活について
- ・ 上級学校進学について
- ・ 就学援助申込みについて
- ・ 中学生からのビデオメッセージ

来年度、入学予定の外国にルーツをもつ小学6年生の児童とその保護者を対象に、スライドを使って日本の中学校について説明を行った。また、生徒によるビデオメッセージを上映したり、実際に生徒が話をしたりして情報を伝えた。

各校の入学説明会後に外国人向け入学説明会を行ったため、ほぼ全員に参加していただくことができた。難しい内容もあったが、最後まで集中して説明を聞いていただくことができた。また、児童と保護者の質問や相談に、個別で答える時間を設けることもできた。



# 2月

## 視察

- 1 日時 2月13日(木) 午前
- 2 会場 岩倉東小学校
- 3 参加者 北名古屋市市議会議員 3名  
北名古屋市国際交流協会 1名
- 4 内容
  - ・ 日本語指導参観
  - ・ 岩倉市の取組説明, 質疑応答



# 2月～

## プレスクール ～日本の学校に慣れるために～

- 1 目的
  - (1) 入学後, 早く学校に適応できるよう, 環境に慣れ親しむ。
  - (2) 学校生活に必要な基礎的事項を体験したり, 学習したりする。
  - (3) 新入学児の日本語力を把握する。
- 2 期間・日時  
2月7日(金), 14日(金), 21日(金), 28日(金),  
3月6日(金)  
15時30分～16時30分
- 3 場所  
岩倉市立岩倉東小学校 学校生活適応指導教室
- 4 参加新入学児 13名  
保護者や新入学児の希望および日本語力が十分身につけていないと思われる  
新入学児
- 5 指導者
  - ・ 外国人講師(岩倉市採用), 日本語担当者※ 必要に応じて, 他の日本語担当者も指導の支援をする。
- 6 事後
  - (1) プレスクール期間内で到達した内容を記録し, 保護者・入学予定の学校へ報告する。
  - (2) 入学後の追跡調査を行い, 来年度に向けて課題点を挙げる。



## ◎ 指導カリキュラム (指導項目・指導内容)

教育の目的，教育内容を超えて，教授活動やそれに対する教師の構えのようなものにまで拡大して，教育にアプローチする姿勢そのものまでカリキュラムとして捉えなおす

### にぎる おと



## ◎ 日本語テキスト 指導教材

※ 評価の姿勢を含んだ類型 (入出力モデル)  
具体的に観察できる教育目標を設定しておいて，それに対応する教材，教具を開発，それを【指導＝学習】の過程で活用

## ◎ 日本語・教科テスト

【指導＝学習】の結果を日本語的な内容と教科的な内容に分けたテストを作成し，個々の到達度を評価する。

Evaluación de la capacidad del idioma japonés / los estudios  
日本語・教科 到達度評価 ～担任の先生へ～

3学期		得点	到達度
もの名前	Madame	57.5	○
漢字	Kanji	49.0	△
国語 (日本語)	Japonais	49.0	△
日本語能力試験	Japanese ability test	65.4	○
日本語 評価		平均	ステップ
到達度評価		55.4	Step2
到達度評価	Madame/Madame	59.1	○
到達度評価	Kanji/Kanji	44.3	△
到達度評価	Madame/Madame	60.1	○
到達度評価	Madame/Madame	51.2	△
到達度評価	Madame/Madame	57.7	○
到達度評価	Madame/Madame	52.9	△
到達度評価	Madame/Madame	49.6	△
教科 評価		平均	ステップ
到達度評価		50.6	Step2
日本語・教科 評価		平均	ステップ
到達度評価		53.0	Step2

  

Step	到達度	到達度	到達度
Step4	ステップ4 上級	71～80	週1～3
Step3	ステップ4 中級	56～70	週1～3
Step2	ステップ4 初級	41～55	週1～4
Step1	ステップ1 初級	11～40	週1～4
Step0	ステップ0 通級	0～10	週1～5

## 評価

### 5言語対応

ポルトガル語 中国語  
スペイン語 英語  
フィリピン語

### グラフ・色分け

保護者にわかる伝え方

## ◎ 個人課題

日本語・教科テストの結果より，現状の日本語・教科の到達度を把握するとともに，個人課題を明確にし，指導スタイル・教材・教具・テストの見直しを図る。

【個人別指導カリキュラム】

## ◎ 指導ユニット・モジュール

### ● 岩倉日本語指導方式

年間 指導ユニット 配当計画 ステップ・学年・月別

サイクル (半期ごとしステップの見直し)	指導ユニット (36)			
	ステップ1 (S1)	ステップ2 (S2)	ステップ3 (S3)	ステップ4 (S4)
1学期	4月(3週)	5月(4週)	6月(4週)	7月(3週)
2学期	9月(3週)	10月(4週)	11月(4週)	12月(3週)
3学期	1月(3週)	2月(4週)	3月(3週)	

1 指導ユニットの指導モジュール数配分は，日本語力のステップに応じて比率を決める。現在の日本語力レベルと現在の半年の学習内容，1指導ユニット・モジュール数配分比率は，概ね下記のようにする。

ステップ	現在の学習内容	指導ユニット・モジュール数配分例
[S1]	1.0	39 : 0 (39モジュールの場合)
[S2]	7	19 : 0 (27モジュールの場合)
[S3]	5	9 : 9 (18モジュールの場合)
[S4]	2	2 : 7 (9モジュールの場合)

### 【ステップ3】 【小3・小4】 4月・5月・9月・12月・1月～9指導ユニット(36モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級
国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)
算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)
理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)
社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)
音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)
美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)
体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)
外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)

### 【ステップ3】 【小3・小4】 7月・3月～6指導ユニット(24モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級
国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)
算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)
理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)
社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)
音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)
美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)
体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)
外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)

### 【ステップ3】 【小3・小4】 6月・10月・11月・2月～12指導ユニット(48モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級	日本語(ステップ3)初級
国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)	国語(漢字の指導)
算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)	算数(算数の指導)
理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)	理科(理科の指導)
社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)	社会(社会の指導)
音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)	音楽(音楽の指導)
美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)	美術(美術の指導)
体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)	体育(体育の指導)
外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)	外国語(英語の指導)

### 【ステップ3】 【小3・小4】 4月・5月・9月・12月・1月～9指導ユニット(36モジュール)

月別指導スケジュール	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット
4・5・9・12・1月	18モジュール	9モジュール	9モジュール	9モジュール	9モジュール
7・8月	12モジュール	6モジュール	6モジュール	6モジュール	6モジュール
6・10・11・2月	24モジュール	12モジュール	4モジュール	4モジュール	4モジュール





◎ 翻訳文書 新規作成および修正

◎ 保護者への発信 学校から保護者の方への情報発信の充実

- ホームページ Homepage  
<http://www.iwakura.ed.jp/nihongo/E29.htm>  
 学校行事予定をスマートフォンやタブレットからも閲覧できるように。
- 外国人保護者向けメール
  - ・ iwakura-japaneseメールより、保護者へ学校行事や緊急メールを発信

◎ 通訳配置

- ポルトガル語・スペイン語・中国語・フィリピン語・英語・ウルドゥー語
- ・トルコ語通訳の配置
- ・保護者会，就学時健診，1日入学，他随時

◎ 視察・講師依頼 問い合わせ 2019年度

○ 鳥根県益田市立益田小学校	日本語・学力を測るテスト及び教材の問い合わせ
○ 福岡市内浜小学校 日本語担当者	プレスクール実施についての問い合わせ
○ 半田市議会	視察 説明・質疑応答 (岩倉東小学校)
○ 株式会社ぎょうせい	「学校教育・実践ライブラリ」執筆依頼
○ 岩倉総合高校 校長	外国人選抜受け入れ関係の情報交換
○ 桑名市教育委員会	視察 説明・質疑応答 (岩倉東小学校)
○ 清須市教育委員会	視察 説明・質疑応答 (岩倉東小学校)
○ 北名古屋市教育委員会	視察 説明・質疑応答 (岩倉東小学校)
○ 愛知淑徳大学非常勤講師	プレスクール視察
○ 津島市日本語担当教諭	公開研修会参加
○ 岩倉市日本語適応指導教室 夏期情報交換交流会 7月26日(金) 参加者 名	
○ 岩倉市日本語適応指導教室 公開指導 11月11日(月) 参加者 122名	